

編集後記

■編集委員

委員長

藤田郁代

副委員長

立石雅子

阿部晶子

内田信也

石坂郁代

稲垣陽子

勝木準子

菅野倫子

倉内紀子

倉智雅子

佐藤睦子

椎名英貴

中村光一

長谷川賢一

原田浩紀

春原則子

平島ユイ子

深浦順一

福岡達之

藤原加奈江

水田秀子

矢守麻奈

■英文要旨の校閲

Gordon BATESON

勝木準

季節は巡り、今年も慌ただしい師走の候となりました。

今回は、本誌の編集・査読体制についてご紹介したいと思います。現在、本誌の編集委員は左欄に記載されている23名で、論文査読は編集委員と査読員が行っています。本年6月に、編集委員と査読員の新旧交代と追加があり新体制となりました。新編集委員には、これまで査読員としてご尽力いただいた各専門領域の方が就任されました(稲本陽子、菅野倫子、原由紀、原田浩美、平島ユイ子、福岡達之、藤原加奈江)。

査読員は、各専門領域において論文査読に相応する研究業績(博士学位を含む)がある方に委嘱され、総勢41名となりました。ここに全員の氏名を掲載させていただきます。なお領域間で人数が異なるのは、投稿論文数に対応するためです。

《査読員》

【失語・高次脳領域】

飯干紀代子、植田恵、内山量史、浦野雅代、大石如香、太田信子、河村民平、小森規代、津田哲也、東川麻里、坊岡峰子、本多留美、森岡悦子、吉畑博代、吉村貴子

【発声発語・嚥下領域】

飯泉智子、今富摂子、石川幸伸、小澤由嗣、兼岡麻子、荏安誠、坂田義政、柴本勇、城本修、谷合信一、為数哲司、浜田智哉、平田文、前新直志、松尾貴史

【発達領域】

青木さつき、岩崎淳也、緒方祐子、大伴潔、後藤多可志、佐藤妙子、藤野博

【聴覚領域】

井上理絵、小淵千絵、外山稔、原島恒夫

本年、8月27日には、査読を公平かつ適正に行うために、編集委員と査読員の方にご参加いただき、「査読説明会」を開催しました。その内容は追ってご説明します。

さて、本号には「第13回言語聴覚研究優秀論文賞」を受賞された中山拓弥氏の随想が掲載されており、研究の楽しさと厳しさが綴られています。原著論文は摂食嚥下評価をテーマとした2編です。症例報告では、原発性進行性失語の発語失行評価と、重度失語症者へのAAC介入について詳細な検討がなされています。調査報告は神奈川県における意思疎通支援事業と、嚥下障害患者における内服時のとろみ剤などの使用に関する実態調査の報告です。このほか、短報では高齢者の外科手術後のせん妄と認知機能との関係が検討されています。いずれも、言語聴覚臨床の奥深さと面白さを感じることができる内容で、読者の研究心を刺激するものと思います。

(藤田郁代)

言語聴覚研究(第19巻 第4号) 2022年12月15日発行(年4回(3, 6, 9, 12月)15日発行)

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

1部定価: 2,200円(本体2,000円+税10%)

2022年年間購読料: 8,250円(4冊, 税込, 送料販売会社負担)

編集・発行: 一般社団法人日本言語聴覚士協会(会長: 深浦順一)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 アクロポリス東京9階

(☎03-6280-7628 FAX 03-6280-7629) <http://www.jaslht.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2022, Printed in Japan

制作・販売: (株)医学書院(代表: 金原 俊) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 ☎03-3817-5650 FAX 03-3815-7804

印刷所 (株)アイワード

広告取扱 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 FAX 03-3817-8044